

TOTO

クリーンドライ(高速埋込タイプ)



TYC310型(日本国内専用)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。商品にはお客様用として、取扱説明書(保証書付)が同梱されています。工事完了後は必ず付属の保証書に、店名およびお取付日等を記入してお客様へお渡しください。




1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。




- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性があることが想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	禁止
	分解禁止
	水場での使用禁止
	必ず実行
	アース線を必ず接続せよ


警告

	腐食性ガスや可燃性ガスなどの雰囲気中には取り付けない 製品内部の機器が故障し、誤動作するおそれがあります。
	絶対に分解したり修理・改造は行わない 感電、火災、けが、故障のおそれがあります。
	屋外や浴室など湿気が多い場所や直接水のかかる場所には 取り付けない 漏電して、感電、火災または故障のおそれがあります。

警告

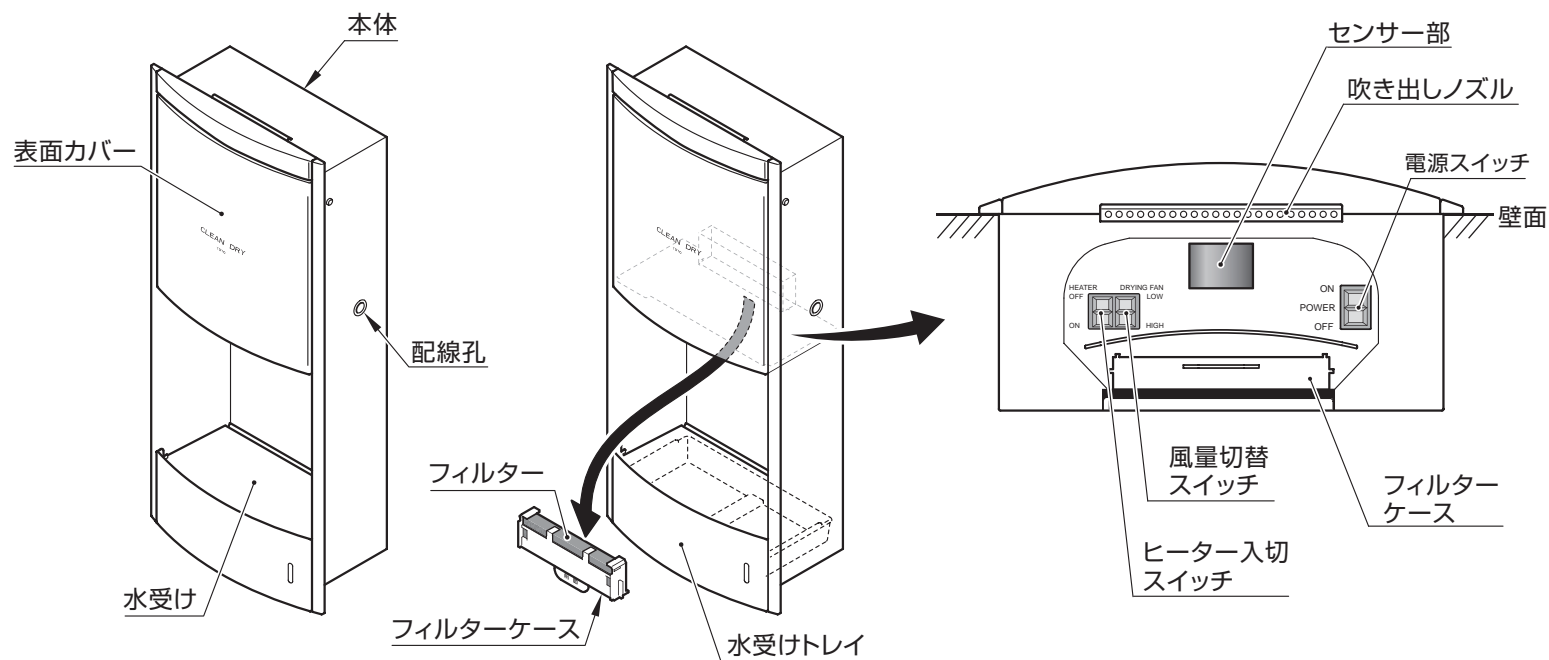
	電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および施工説明書に従って、電気工事士の資格をもった方が行う 不確実な接続をすると、端子が発火し火災のおそれがあります。
	電源には漏電遮断器を取り付ける 故障や漏電の際に、感電するおそれがあります。
	電源コードは、定格仕様のもを使用し確実に接続する 接続が不十分だと火災のおそれがあります。
	必ずD種接地工事を行う アース線は本体のアース端子に接続する 感電するおそれがあります。

注意

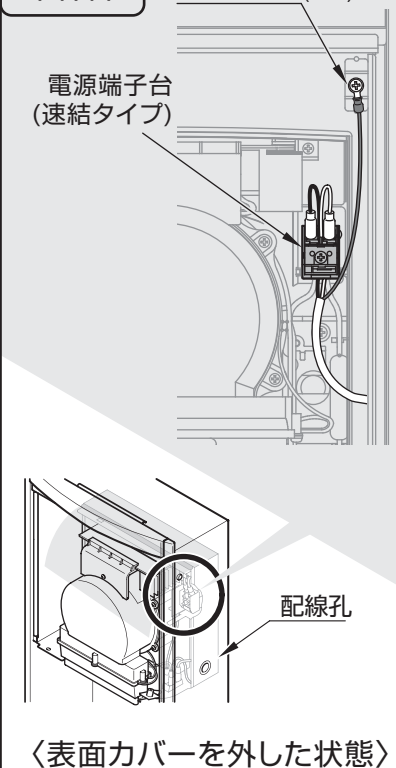
	固定枠の固定を確実に 本体が外れてけがをしたり、破損するおそれがあります。
---	--

2 部品の確認および各部のなまえ

クリーンドライ本体



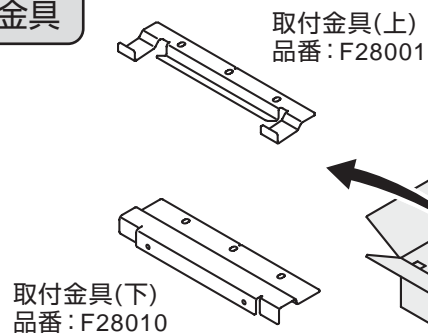
本体部



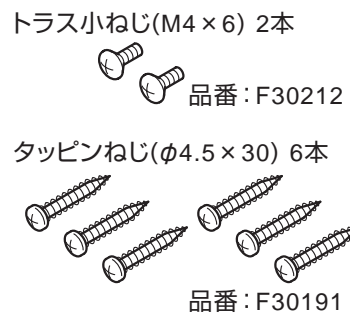
付属品

※品番は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

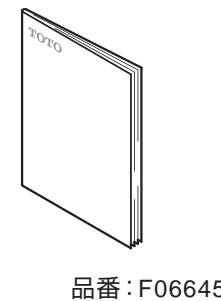
取付金具



取付ねじ



取扱説明書(保証書付)



使用方法ラベル



3 施工方法

この施工方法はあくまで新設の場合を基準に作成しております。

3-1 施工前の注意



警告

電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および施工説明書に従って、電気工事士の資格をもった方が行う不確実な接続をすると、端子が発火し、火災のおそれがあります。

電源には漏電遮断器を取り付ける
故障や漏電の際に、感電するおそれがあります。

必ずD種接地工事を行う
アース線は本体のアース端子に接続する
感電するおそれがあります。

■ 定格以上の過電流遮断機を単独で設置し、指定の電源を印加してください。

	TYC310型
過電流遮断機	定格15A以上
電 源	单相100V±10%
備 考	200V印加すると故障する

3-2 電源線の施工方法

1 スイッチボックスの埋め込みと配線

・スイッチボックス(JIS C 8340)を壁面に埋め込み、電源線とアース線(いずれも600Vビニル絶縁電線、またはVVFケーブルφ1.6またはφ2.0の単線)を配線します。

※600Vビニル絶縁電線(より線)の場合、電源端子台(速結タイプ)への接続には、絶縁被覆付圧着端子(パナソニック電工製WV2502)をご使用ください。また、電源の引き込み長さは500mm以上確保してください。

・スイッチボックスの取り付け位置は、「2固定枠の位置決め」を参照してください。

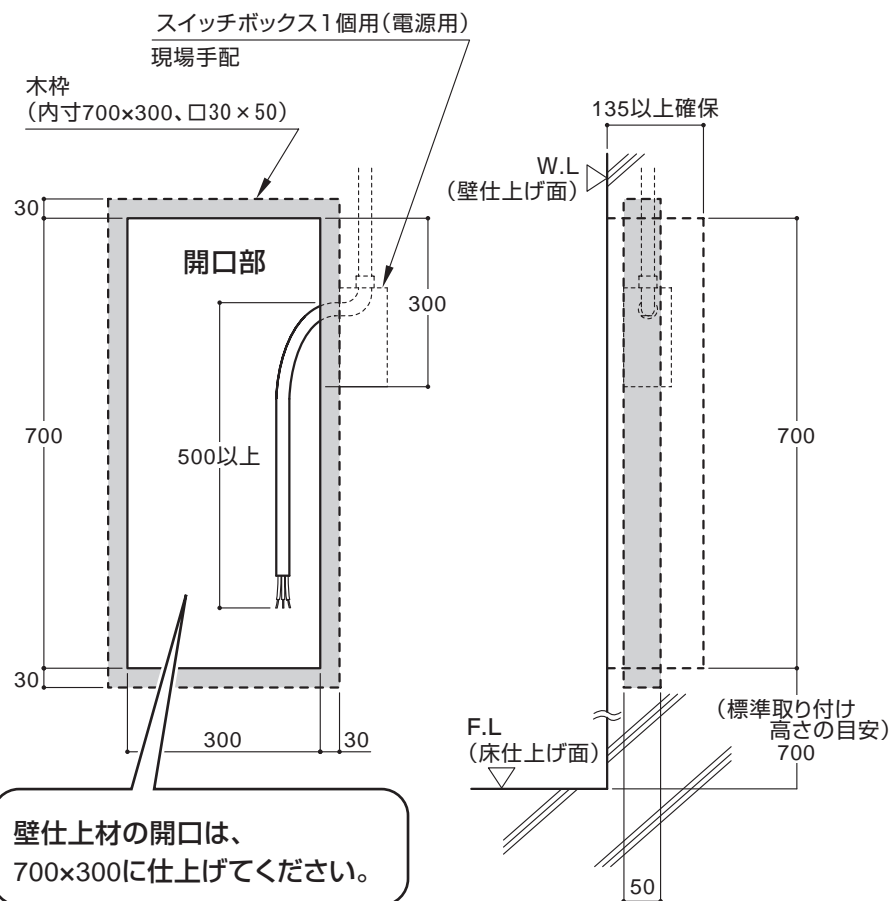
2 固定枠の位置決め



注意

既設壁へ取り付けの際、□30×50の木枠使用の場合、H760×W360×D135プラスα(スイッチボックス等)の壁はつりが必要

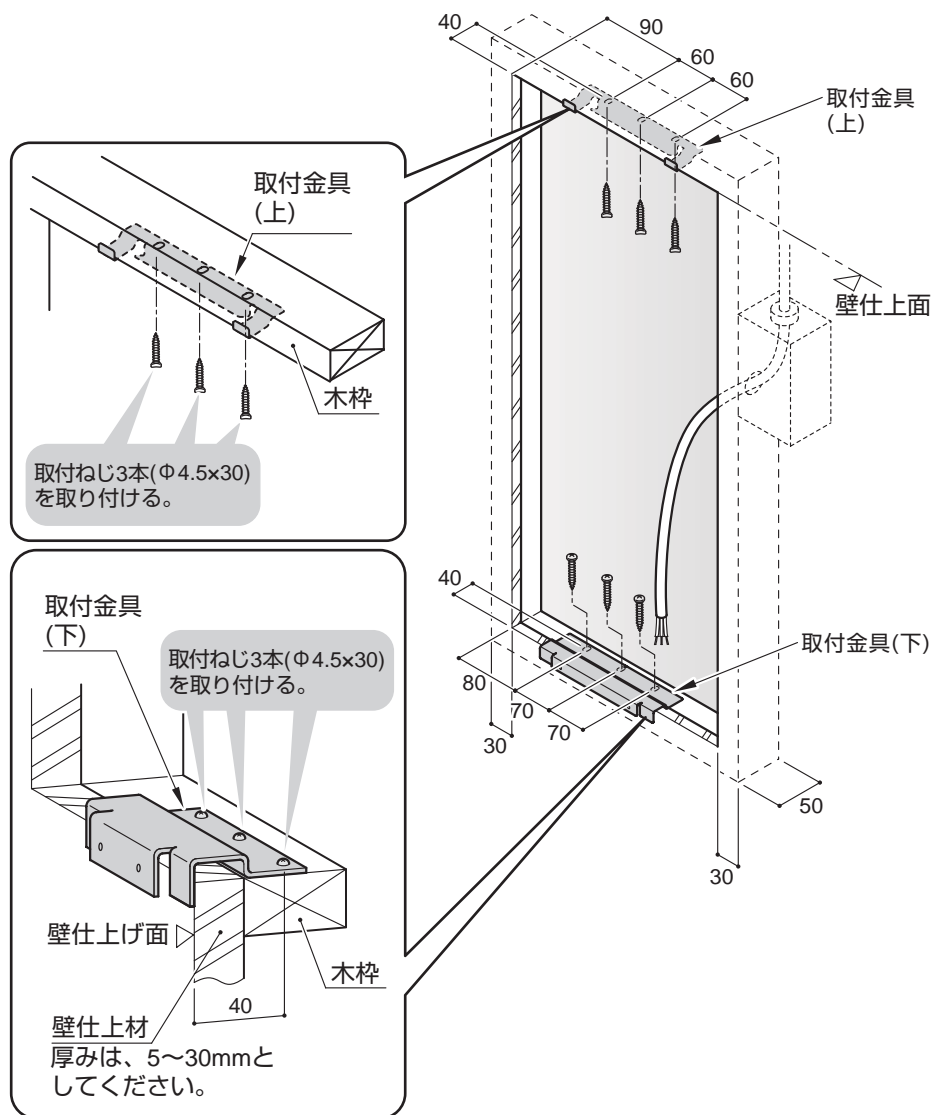
・木枠(別売品、品番:TYC501型、内寸700×300、□30×50)を壁の下図の位置に固定します。



※奥方向へは埋め込み度を135以上確保ください。

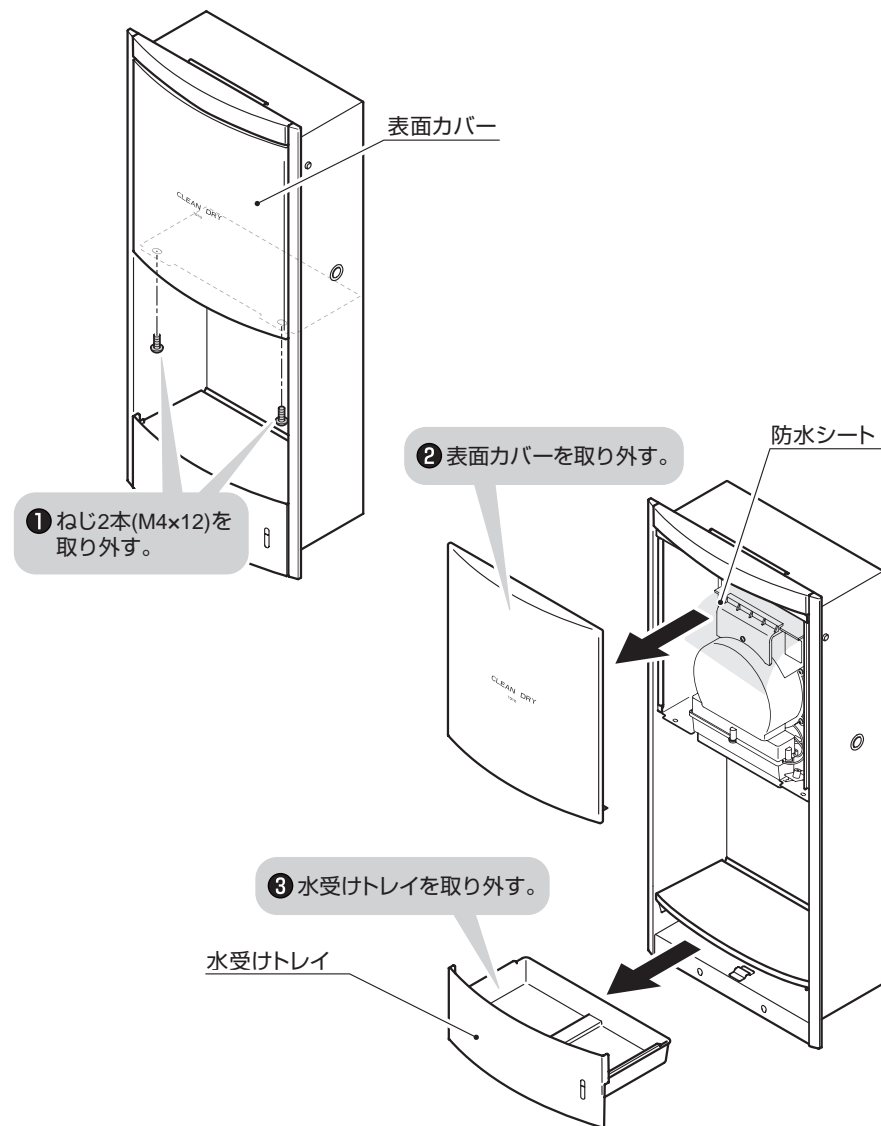
3 取付金具の取り付け

・木枠の上辺および下辺の下図の位置をけがき、固定板用の下穴(φ3.5、深さ25以上)を開け、同梱の取付金具(上・下)を取付ねじ(φ4.5×30)で止めます。



4 電源線の引き込み

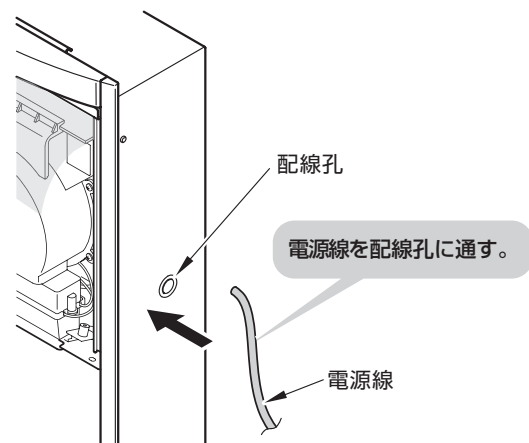
①クリーンドライの表面カバー・水受けトレイを取り外します。



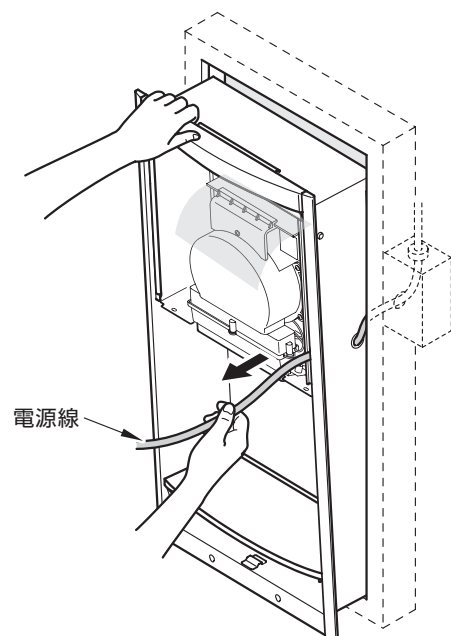
※防水シートは取り外さないでください。

4 電源線の引き込み(つづき)

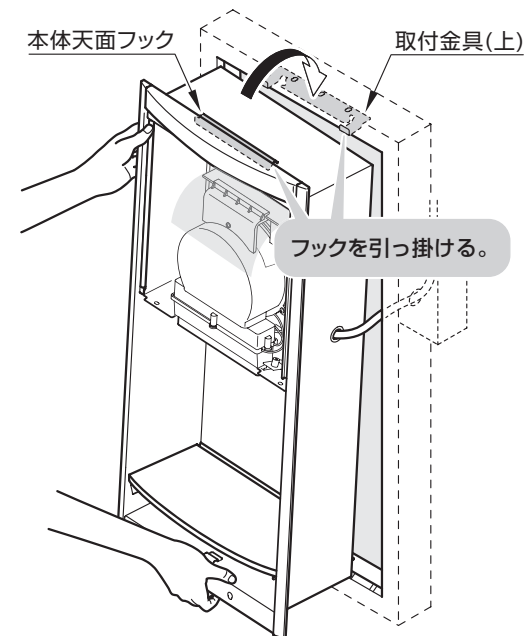
② 本体を開口の下辺部に仮置きし、電源線を右側面にある配線孔に通します。



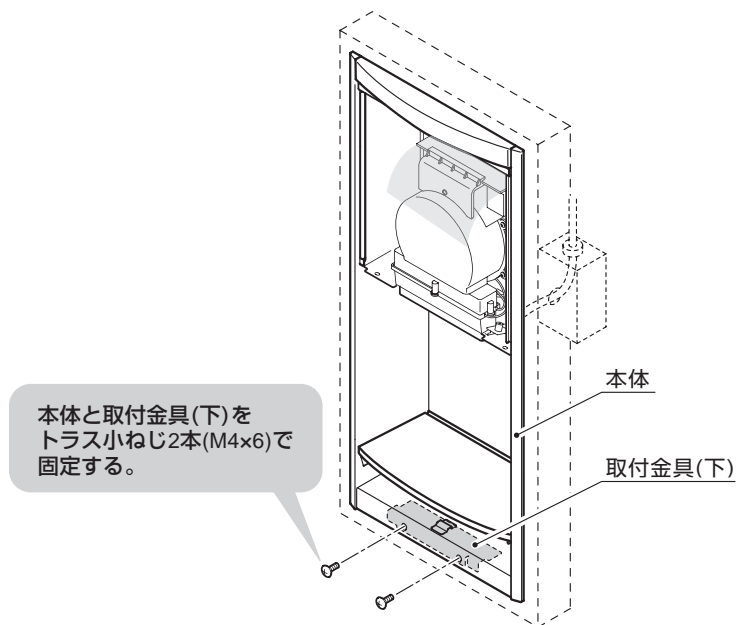
③ 電源線を引き込みます。



④ 本体を持ち上げながら、本体天面フックを取付金具(上)のフックに引っ掛けます。



⑤ 本体を固定します。



5 電源線の接続について



警告



アースを
必ず接続せよ

必ずD種接地工事を行う
アース線は本体のアース端子に接続する
感電するおそれがあります。



必ず実行

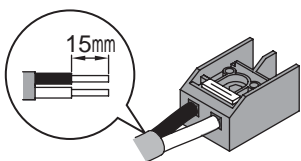
電源線は、先端をそろえ端子台に確実に差し込む
差し込みが不十分だと火災のおそれがあります。

●電源端子台への接続について

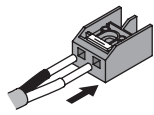
各々の芯線がまっすぐ15mm出ている状態に加工のうえで、端子穴に芯線を“グツ”とおくまで確実に差し込んでください。



電源端子台
(速結タイプ)



確実に差し込んでください。



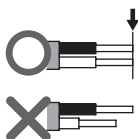
“グツ”と奥まで確実に差し込む

お願い

接続後、電源線の芯線が上図のように差し込まれていることを再度、目視で確認してください。

- 電源線の芯線2本が端子台の手前で均一になるように加工してください。

端面を揃える

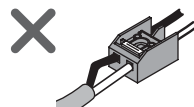


- 端子台の近くで大きく曲げると先端が十分に差し込まれない場合があります。

曲がった電線使用

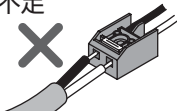


差し込み付近の折れ曲がり

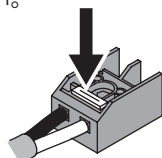


- 端子台の芯線を奥までまっすぐ挿入してください。

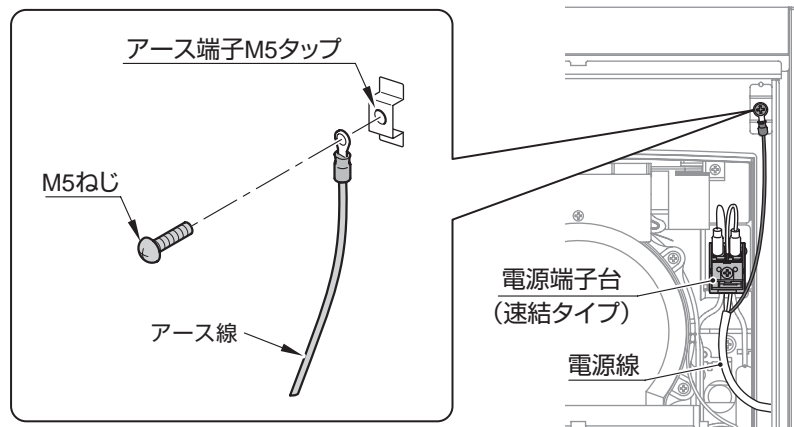
差し込み不足



- 電線を外すときはここを電工ドライバーで強く押しってください。



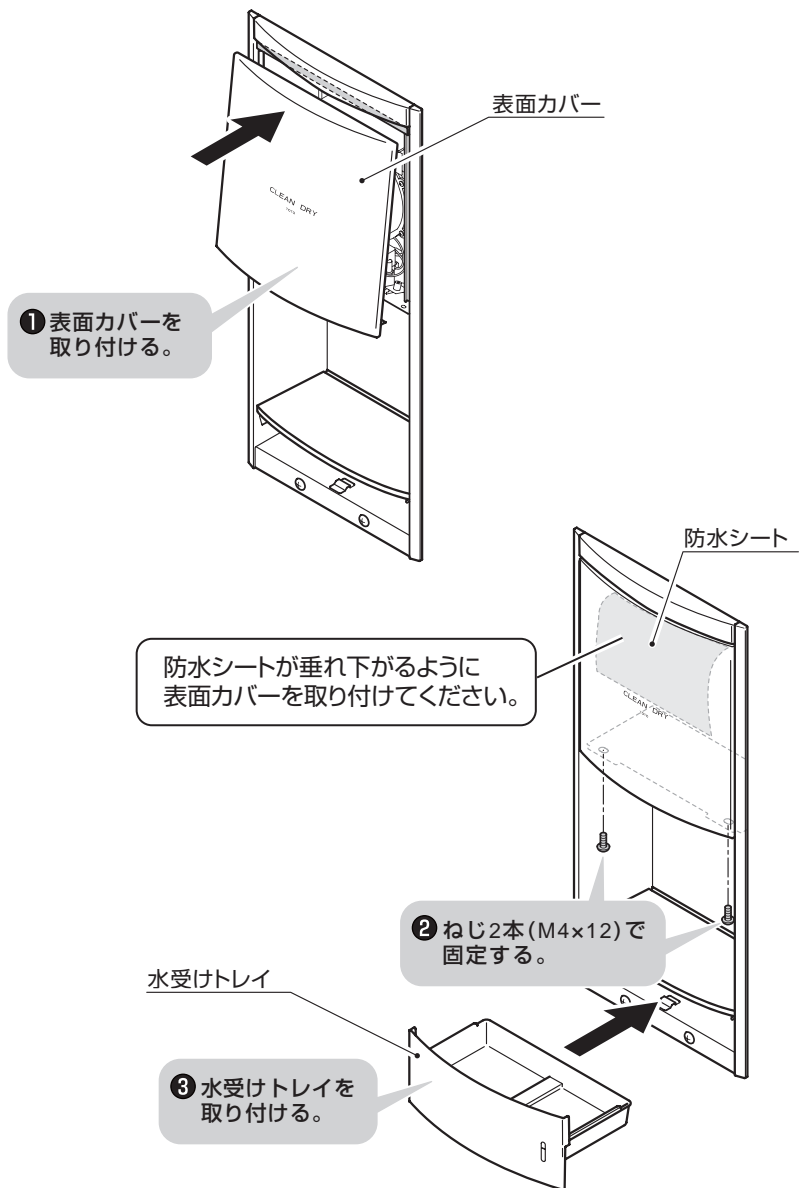
- 本体内に引き込んだ、電源線を電源端子台およびアース端子に接続します。



- ※600V電源線にビニル絶縁電線(より線)を使用する場合は、絶縁被覆付圧着端子(パナソニック電工製WV2502)を使用し電源端子台に差し込んでください。また、アース線には銅線用裸圧着端子(JIS C 2805)(R型)を使用し、アース端子に接続してください。

6 表面カバー・水受けトレイの取り付け

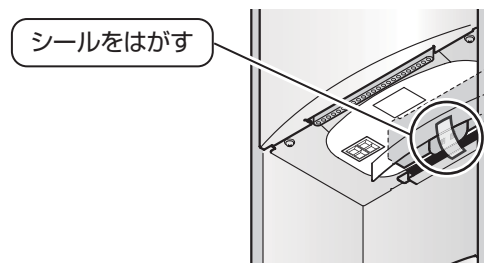
・表面カバーと水受けトレイを取り付けます。



5 試運転

■ 施工が完了しましたら、以下の方法で試運転を行ってください。

- ・はじめに、フィルター部についているシールをはがしてください。
(シールは輸送時のフィルター外れ防止のもので、破棄ください。)



- 1. 電源の投入**
 - ・屋内電源のブレーカーを「入」にしてください。
- 2. 電源スイッチの確認**
 - ・電源スイッチを入れてください。
- 3. 動作の確認**
 - ・吹き出しノズルの下に手を差し出し、風が吹き出すことを確認してください。
- 4. 風量切替スイッチ、ヒーター入切スイッチの確認**
 - ・風量切替スイッチおよびヒーター入切スイッチを操作し、モードが切替わっているか確認してください。
 - ※切替操作は、運転が完全に停止してから行ってください。

■ 試運転の後は

- ・試運転での動作確認が終了しましたら、同梱の「取扱説明書(保証書付)」をお客様に渡し、商品の使い方について説明してください。